

- 問1 弥生時代に大陸から稲作が伝わり、食料を蓄えることが可能になったことで生じた社会の変化について、最も適切な説明を選んでください。
(2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 政府から農民へ平等に土地が割り当てられ、収穫した稲を税として納める制度が整った。 | 2. ナウマン象などの大型動物を狩猟するために、人々は移動を繰り返しながら生活するようになった。 | 3. 表面に縄目の文様がある、厚手で黒褐色の土器が全国的に作られるようになった。 | 4. 土地や水の利用、蓄えた食料などをめぐって、ムラの中で争いが起こるようになった。 |
|---|--|--|--|
- 問2 3世紀の日本において、30余りの小国を従えていた邪馬台国の女王は、中国の王朝である魏に使者を送りました。この女王が魏の皇帝から授かった称号として正しいものはどれか。
(2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|----------|----------|
| 1. 倭王武 | 2. 親魏倭王 | 3. 漢委奴国王 | 4. 征夷大將軍 |
|--------|---------|----------|----------|
- 問3 弥生時代の高床（式）倉庫において、柱と床が接する部分に「ネズミ返し」と呼ばれる板状の部材が取り付けられた理由として、当時の社会背景を踏まえた説明はどれですか。
(2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 定住生活が始まったことで、家畜として飼育し始めた動物が建物内に入り込むのを防ぐ必要があったから。 | 2. 大陸から新たな建築技術が伝来し、建物の耐震性を高めて大規模な集落の崩壊を防ぐ必要があったから。 | 3. 稲作の開始によって収穫した食料を蓄えるようになったため、その貯蔵分を害獣から保護する必要があったから。 | 4. 集落間の争いが激しくなったため、床下に敵が潜り込んで火を放つことを防ぐ防御壁が必要だったから。 |
|---|--|--|--|
- 問4 『魏志』倭人伝などの中国の歴史書に記述が見られ、3世紀ごろに争乱が続いていた倭国を治めるため、邪馬台国の女王として共立された人物は誰か。
(2016年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 神功皇后 | 2. 持統天皇 | 3. 推古天皇 | 4. 卑弥呼 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問5 1世紀半ば、日本の小国の一つであった奴国の王が、中国の王朝である後漢へ使者を送った時期の社会状況として、最も適切なものはどれですか。
(2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 巨大な前方後円墳が築造されるようになり、その周囲には死者を供養するための埴輪が並べられた。 | 2. 狩猟や採集を生活の中心とし、ナウマンゾウなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていた。 | 3. 仏教による国家の安定を図るため、聖武天皇の命によって全国各地に国分寺や国分尼寺が建立された。 | 4. 大陸から伝わった稲作や金属器の使用が広まり、食料の蓄えや土地をめぐる集落間の争いが起こるようになった。 |
|--|--|---|--|
- 問6 弥生時代に大陸から稲作とともに伝えられた金属器のうち、強度が非常に高く、主に武器や工具、木製農具の刃先などの実用的な道具として用いられたものはどれですか。
(2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|--------|
| 1. 打製石器 | 2. 鉄器 | 3. 磨製石器 | 4. 青銅器 |
|---------|-------|---------|--------|
- 問7 弥生時代に現れた環濠集落は、それ以前の縄文時代の集落とは大きく異なる社会背景を持っています。このような形態の集落が全国的に出現した理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2021年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大規模な洪水被害から住居を守るために、集落の周囲に巨大な排水路を設ける必要があったため | 2. 稲作による生産力の向上で蓄えが生まれた結果、土地や水をめぐる集団間の争いが激化したため | 3. 渡来人から伝わった仏教の寺院を建立するにあたり、聖域と世俗の居住区を明確に区別するため | 4. 大陸との交易で得た貴重な青銅器や鉄器を、雨風や火災から物理的に保護する必要が生じたため |
|--|--|--|--|
- 問8 弥生時代に大陸から伝わった技術や文化が、当時の社会に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。
(2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 青銅器が実用的な農具として普及したことで、開墾が進み全国的な統一国家が誕生した。 | 2. 狩猟や採集がより効率的になり、人々は移動を繰り返しながら堅穴住居に住んだ。 | 3. 巨大な前方後円墳を築くための高い土木技術が伝わり、各地に大規模な古墳が作られた。 | 4. 稲作の普及により食料の蓄えが可能になり、貧富の差や集団をまとめる王が現れた。 |
|---|--|---|---|
- 問9 1世紀、3世紀、5世紀の倭（日本）の勢力が行った中国への朝貢について述べた文として、正しいものはどれか。
(2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|----------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 5世紀、倭の五王が魏へ使いを送り、朝鮮半島における軍事的な立場を認めさせようとした。 | 2. 5世紀、奴国の王が南朝の宋へ使いを送り、金印を授けられた。 | 3. 1世紀、奴国の王が中国の後漢へ使いを送り、皇帝から金印を授けられた。 | 4. 3世紀、邪馬台国の卑弥呼が後漢へ使いを送り、「親魏倭王」の称号を授けられた。 |
|---|----------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問10 弥生時代から古墳時代にかけての日本列島において、当時の人々が衣服を仕立てる際に主な原料として用いていたものの組み合わせとして、正しいものを選びなさい。
(2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|------------|------------|---------|
| 1. 麻と絹 | 2. 綿（木綿）と麻 | 3. 綿（木綿）と絹 | 4. 絹と羊毛 |
|--------|------------|------------|---------|
- 問11 福岡県の志賀島で発見された、「漢委奴国王」と刻まれた金印に関する記述として、当時の外交関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|---|
| 1. 中国の王朝である漢（後漢）の皇帝が、倭の奴国の王に与えたものである。 | 2. 邪馬台国の女王である卑弥呼が、魏の皇帝から親魏倭王の称号とともに授けられたものである。 | 3. 室町幕府の足利義満が、明の皇帝から日本国王として認められた際に授かったものである。 | 4. 聖徳太子が小野妹子を派遣した際、隋の皇帝から対等な外交の証として贈られたものである。 |
|---------------------------------------|--|--|---|
- 問12 弥生時代に大陸から伝えられた金属器のうち、銅鐸や銅剣などの青銅器は、主にどのような目的で使用されていたと考えられますか。
(2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 都の東西に置かれた市で、布や米と交換される通貨として用いられた | 2. 食物を煮炊きしたり、貯蔵したりするための生活容器として用いられた | 3. 土地を耕したり木を加工したりする実用的な工具として用いられた | 4. 集団の祭祀や祭りの道具として用いられた |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------|
- 問13 縄文時代末期から弥生時代にかけて、大陸から伝わった稲作がいち早く開始されたと考えられている、現在の福岡県や佐賀県を含む地域はどこですか。
(2016年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 東北 | 2. 近畿 | 3. 関東 | 4. 北九州 |
|-------|-------|-------|--------|